

建設産業における担い手確保・育成の今後の進め方について（案）

令和3年12月23日
秋田県建設部

1 秋田県建設産業担い手確保育成センター（H29～R3）における取組状況

「若者確保」「女性活躍」「ICT活用」を柱に、入職促進に向けた取組等を実施 ※別紙参照

【主な成果】

人材確保に向けた官民一体となった取組が定着し、新規高卒者の入職者数は150人前後で推移

図1

〔若者確保〕高校生等と県内企業とのマッチング機会が拡大

〔女性活躍〕県内8地域で女性部会が設立され、業界全体で女性活躍に取り組む意識が定着

〔ICT活用〕建設ICT研修拠点が整備され、民間主導による人材育成の仕組みが確立

【課題】

○県内産業の中でも依然として、人手不足、高齢化が顕著（有効求人倍率5倍強）

図2

○賃金は、県内産業の中でも高い水準にあるものの、全国との格差は大きい

図3

○賃金水準の優位性が、雇用の拡大に直接結びついていない

図4



上記を踏まえ、これまでの人材確保に向けた取組に加え、建設産業のイメージアップや各企業の経営基盤強化を総合的に支援していくため体制を拡充

2 秋田県建設産業活性化センター（仮称）の概要

【見直しの視点】

①センター機能の拡充

- 建設産業の振興全般を担う「秋田県建設産業活性化センター（仮称）」に改組
- 建設産業のイメージアップや各企業の経営基盤の強化に対する支援の充実

②業界団体との役割分担の明確化

- 各団体への補助金の一括化
- 県の取組の重点化

センターの目指す姿

『県内建設産業の持続的な発展』

将来にわたり地域社会を支える建設産業の持続的・安定的な発展

今後の方向性

- ◎マッチングの更なる強化と離職防止対策の充実
- ◎建設産業全体のイメージアップ
- ◎各企業の経営基盤の強化による賃金水準や労働環境の改善

【参考データ】

